

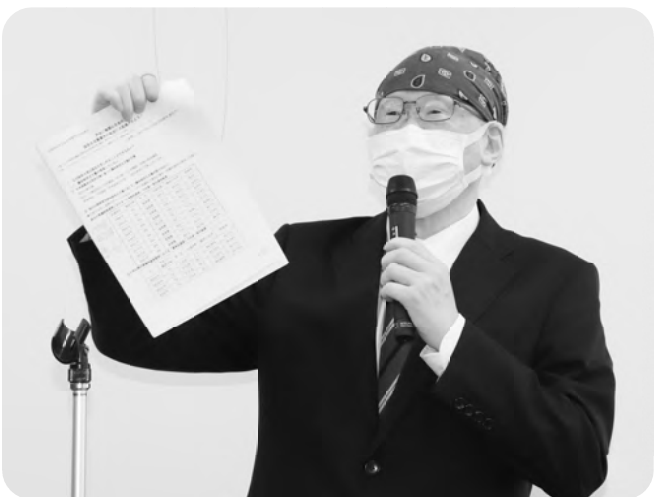
# 支部24春闘学習決起集会



2024. 4. 12  
NO. 676 号

全港湾関西地方  
阪神支部  
大阪市港区築港  
1-12-27

06-6574-8424  
078-303-0800



政治の腐敗構造に深く切り込んだ上脇教授

「これは比  
例代表選挙で  
も同様であ  
り、政治資金  
規正法の改正  
による政党助  
成金制度も諸  
悪の根源であ  
る」と併せて  
訴えられてい  
ます。

その結果、  
「自公政権は  
福祉国家政策  
を否定し、構

組合の基幹的な取り組み  
で重要な位置付けがされて  
いる春闘をたたかっている  
中で、機運を盛り上げ、旺  
盛な交渉を行っていくため  
に春闘決起集会を3月16日  
にポートオアシスで開催し  
ました。

記念講演には今まさに時  
の人といっても過言ではな  
い神戸学院大学法学部の上  
脇博之教授をお招きし、  
「政治に無関心を改め、国  
民生活最優先の政治に転換  
させよう！」のテーマでお  
話して頂きました。

皆さんの記憶にも新しい  
昨年末からの自民党派閥に  
よる裏金キックバック問題  
は、上脇先生の告発が発端

その経験から、一番の問  
題は1994年の政治改革  
で中選挙区制から小選挙区  
制(1つの選挙区から1名  
のみが議員当選する制度)  
に移行した事であると主張  
されました。

「日本国憲法は国民主権  
に基づく議会制民主主義の  
立場を掲げており、国会は  
民意の縮図であるべきだが  
そうはなっていない。小選  
挙区制度では、全体の過半  
数に達していない得票率に  
も関わらず、自民党議員が  
得票率を大幅に上回る多く  
の議席を確保する事になっ  
てしまう事がデータにより  
示され、全く民意が反映さ  
れていない」との説明がさ  
れました。

「その延長線上に今回の  
裏金問題があるが、これま  
でも数えきれない程の告発  
をしてきており、大抵は不  
起訴になるが、一部は起訴  
されて事件として取り上げ  
られており、国民主体の政  
治実現に向けて諦めない気  
持ちは労働運動の中でも持  
つてもらいたい」との言葉  
で締められています。

上脇先生は年末年始など  
ほとんどの休日を告訴状の  
作成にあてられており、な  
んとこの日も公演を終えら  
れたのちに告訴状の作成に

造改革という名の新自由主  
義が簡単に強行でき、格差  
社会を広げ、同時に戦争で  
きる国づくりも着々と進め  
られている」と指摘しまし  
た。

格差社会の拡大は自民党  
では駄目だと気付く人たち  
が増加し、「自民党員のピ  
ークは1991年の547  
万人で、今では約5分の1  
の109万人程度であるに  
も関わらず、政治資金が減  
少するどころか増え続けて  
いるのは、自民党政治が国  
民の代表として選ばれ、国  
民第一の政治をするのでは  
なく、大企業から献金を受  
けては優遇政策を行い、私  
腹を肥やす事こそが目的で  
あるが故だ」との事でし  
た。

## 労働運動も諦めない 気持ちを持って継続

3月25日に行われる3回  
目の交渉の結果如何では、  
27日にリモートで開催予定  
の春闘総決起集会を経て、  
ストライキも辞さない覚悟  
を求められており、「決起  
集会にはより多くの方がリ  
モート参加する事により全  
国港湾を後押ししてもらい  
たい」との強い決意が示さ  
れました。

当日は32分会37名、執行  
部18名と合わせ計55名が集  
結し、物価上昇を上回る賃  
金引き上げに向けて志を共  
にする事ができ、最後に池  
口執行委員の団結ガンバロ  
ーで散会しました。

書記次長 入江 友規

取り掛かれるとのことで  
した。

参加者が集中して聞いて  
いる姿も見えて取れ、講演終  
了後の質疑には分会からも  
意見があがり、上脇先生が  
話された政治への不信には  
強い関心があることが改め  
て示されました。



久保田書記長



福島原発事  
故でふるさとを  
奪われ、兵庫に  
避難した人たち  
をめぐる訴訟に  
も、難しい言葉

がいくつも出てくる◆相手  
の法律上の責任を明らかに  
し、賠償を求める以上、仕  
方がないのだろう。だが、  
原告たちのやるせない悲し  
みは角張った言葉ではとて  
も伝えきれない。一方、相  
手は法律用語の盾で身を守  
り、顔すら見せない◆兵庫  
の原告たちが神戸地裁に訴  
えたのは、東日本大震災か  
ら2年半が過ぎた2013  
年9月。「国の責任をはっ  
きりさせる」、そう自らを  
奮い立たせていた原告の一  
人が先日ぼつりと言った。

「正直、疲れました」◆ど  
れだけ長く、つらい日々だ  
ったか。とりわけ孤立を深  
めたのが「自主避難」と呼  
ばれた人たちだ。空間線量  
で引かれた境界線の「外」  
だからと、まともな補償も  
受けられず、ふるさとを捨  
てたと陰口まで◆放射能に  
対する不安の感じ方は千差  
万別だ。それを踏まえた  
「避難の権利」は事故後に  
できた新法で定められた  
が、事故を起こした国の責  
任を、最高裁は認めなかつ  
た◆望まない避難をさせた  
責任は電力会社の方にあ  
る、と誰が思うのか。

# 24春闘大幅な賃上げを！ 労働者不足を解消し、 魅力ある産業に！

関西地本

## 要求提出

2月26日、関西地本第一回集団統一交渉がアートホテル大阪ベイタワーにて行われました。



畠山委員長

はじめに、畠山委員長より元日からの能登半島地震や翌日の飛行機炎上事故にふれ、「阪神淡路大震災を彷彿とするような災害があり、七尾港が甚大な被害を受け、港湾労働者とその家族は未だに苦難の下に置かれており、全国港湾では日港協に対し救済の要求を提出している」と報告しました。

また、「厳しい船出となった2024年は経済の転換点となる大切な年でもある」と話され、「政局では自民党の派閥を巡る政治資金問題が岸田政権を直撃し、9月末には岸田政権が支持されるか否かとなる総裁選挙がある」とし、「国際情勢では3月にロシア大

統領選挙、11月にはアメリカ大統領選挙と続きイスラム組織ハマスとイスラエルとの紛争、北朝鮮はミサイル開発を進め、中国分離状況で隣国や台湾海峡で緊張が走っている」と話しました。

また、「業界では2024年問題が社会的にもクロズアップされ、労働時間規制はまもなく運輸産業にも施行され、労働者不足が叫ばれている港湾運輸業界において、その社会的役割や重要性を垣間見ると労働者不足を解消し、魅力ある産業にするための改革が不可欠で、第一に賃金的大幅な改善がもつとも重要視されなければならぬのは共通認識である」と話し、「大手企業では春闘要求に満額回答、株価の方では史上最高値を更新したとニュースではよく耳にするが庶民にはまったく関係のない話であり、実質賃金は2年連続の減少、賃上げは物価上昇に追い付いてこないのが現実で、岸田政権は定額減税や給付金で総額4兆円を国民に配ろうとしているが、一時的なものであり防衛増税、少子化対策増税が現実味をおびる」とし、

「所得を持続的に高めるには今春闘の賃上げ、なかでもベースアップがポイントになる」と強い意志を示しました。

続いて、樋口書記長より全国港湾中央本部の要求額3万円以上の引上げと全国港湾ならびに港湾同盟に加盟する各単組が掲げる初任給20万2000円の要求と関西地本の統一要求の趣旨説明が行われました。

また、各支部より要求の趣旨説明があり、団体交渉を終えていきました。

## 阪神支部 第一回突き上げ交渉



腕章着用で交渉に臨む

3月19日、大阪港勤労福祉会館にて阪神支部第一回突き上げ交渉を行いました。

冒頭、河野委員長から「大企業ではすでに要求以上の回答が出ているようなところもあるが、我われ中小企業までは波及していない。価格転嫁を進めなければいけない。そのような状況ではあるが、今春闘も重要な位置づけとして臨み、3万円以上の要求を出している」と現状の回答に満足していない旨を話しました。

続けて久保田書記長は「春闘期間はまだまだ長い。1度、2度だけではなく、納得いくまで何度でも交渉を重ねてもらいたい」と企業に誠意ある対応を求めました。

集団交渉の後、共済会の全体会議が行われ、安全衛生委員会から災害時の避難場所の確認やマップの見直しなどが求められ突き上げ交渉を終えました。

教宣部員 遠藤 佑助

## 24春闘

### 横断幕作成

### 神戸ブロック

今年も無事に横断幕が完成しました。

スローガン案については事前にメール等で募集を行い、17個の案が集まりました。

スローガンの選定を行い、欠席者には事前に一覧を送付し、投票に多くの意見を反映できるように工夫しました。また、投票の結果を踏まえて出席者で議論を行い決定しました。横断幕の掲示場所が2分会であり、春闘用2つ、メーデー用1つ合計3つのスローガンを採用しました。



1日で3枚の横断幕を作成

洋運輸分会に掲示していますので、近くを通った際は出来栄を確認していただければ幸いです。

神戸ブロック事務局長 脇坂 光一

## 大阪ブロック

2月24日春闘横断幕の作成をブロック員5名、支部執行委員3名でエル食堂横のコンテナハウス(元大阪ブロック会議室)で行いました。下地から色を塗り手作業で作成しています。今年は8名と参加者が多く、スムーズに作業をする事ができ、イレギュラーにもチームワークよく意見を出し合い作成する事が出来ました。

NCY車庫前は「物価高を超える賃上げを勝ち取り未来に展望を持てる社会を！全港湾阪神支部」JET車庫前には「港湾労働者の団結で賃金・労働条件の改善と安全衛生の確立を！全港湾阪神支部」と掲示しました。

今年の横断幕も強風対策のためプラスチックダンボールを裏面に使い補強しましたが、持ち運びに不便さを感じるとの意見もありました。そのため今回は2枚のうち1枚はプラスチックダンボールをやめて紙を

真剣に手作業で作成



真剣に手作業で作成

皆田 麗

阪神支部24春闘宣伝行動

## 「見える・聞こえる」

## 早朝ビラ配り&宣伝カー運行



でいます。  
早朝のビラ配りでは  
例年以上に受け取って  
くれる人が多く、  
世間の春闘や賃上  
げへの関心の高さ  
がうかがえまし  
た。

今年も阪神支部独自の取  
り組みである「見える・聞  
こえる」春闘宣伝行動とし  
て、大阪・神戸の駅頭での  
早朝ビラ配りと港湾地区で  
の宣伝カー運行に取り組ん

はすれ違う仲間など  
からの激励もあり、  
旺盛に取り組めてい  
ます。  
春闘はようやく折  
り返し地点を過ぎま

宣伝カー運行で



したが、まだまだ終わって  
はいません。  
阪神支部はこれからも宣  
伝行動の旺盛な展開により  
組織拡大を目指します。  
これからも積極的な参加  
をお願いします。宣伝を見  
かけましたら仲間への応援

## 全港湾 第24回 全国青年対策交流集会

## 関西で初の開催！

全国青年対策交流集会が  
2月28日から3月2日の3  
日間、ホテルクライトン新  
大阪で開催されました。

今年もコロナ、インフル  
エンザが流行している中、  
開催できた事が嬉しく思っ  
ます。

今年初めての関西での  
開催となりました。約1年  
程前からの関西地本青年部  
の役員で準備をはじめ、全  
て自分達だけで開催に向け  
て取り組みました。  
当日を迎えるまで、議論  
を繰り返して何度も行程を

変更したり、会場やフィー  
ルドの下見、学習会の内容  
をどうするか等、開催の2  
日前まで代表者会議で各支  
部代表者の皆さんと制作し  
ていきました。  
1日目は午後からのスタ  
ートで関西地本青年部の芳  
野部長の挨拶から始まり、  
学習講義では「港湾産別」  
について中央の松永書記長  
が講師をされました。  
その中で「今の時代は学  
校の先生から就職が斡旋さ  
れる時には港湾関係の仕事  
を生徒には薦めていない現

状がある」とし、更に「休  
みはあるが仕事があれば出  
勤しなければならぬ。残  
業しなければ給料が少な  
い。現実には厳しいものがあ  
るが、オヤジのおる会社に入  
りたいと息子に言われる  
会社にしていかなければな  
らない」と話された内容は  
印象深く、とても勉強にな  
りました。  
学習会では大阪IRについ  
て4つのテーマで学習しま  
した。IRについては築港支  
部。経済面における問題的  
については阪神支部。イン  
フラ整備問題については大  
阪支部。治安への影響につ  
いては神戸支部。各支部が  
それぞれ考え、資料などを



展望台から見た夢洲

集め、勉強してきたこ  
とを発表しました。  
分散会後の感想では  
「とても分かりやす  
く、パワーポイントを  
活用し、数字や実際に  
撮影された動画などが  
非常に分かりやすい」  
との声が非常に多く挙  
がりました。ニュース  
などは都合の良い部分  
しか放送しておらず、  
今大阪が抱えている問  
題が明確に伝えられた  
非常に良い学習会と分  
散会になりました。  
夜には親睦交流会が  
行われ、皆さん緊張気  
味でしたが、時間が経  
つにつれ緊張の糸もほ  
ぐれ、良い時間を過ご  
すことができました。

2日目はフィールドワー  
クでマイクロバス2台に分  
かれ、神戸市にある開港1  
20年記念事業として開館  
された施設の見学に行きま  
した。  
昼からはさきしまコスモ  
タワー展望台の視察に行き  
ました。そこではやはり万  
博会場のある夢洲に参加者  
の注目が集まりました。全  
く工事が進んでおらず、1  
年後に開催できるのかとい  
った疑問や、コンテナヤ  
ードがあり交通が麻痺するの  
が明確でした。  
初めて大阪に来る人も多  
かったため、コスモター  
展望台は非常にいいフィー  
ルドワークとなりました。



全国から青年層の仲間が集った

大阪港湾福祉センターに  
戻り、2日目の夕方疲れ  
もあり眠気が襲う中、畠山  
副委員長による学習講義で  
「労基法」について学びま  
した。  
まず最初に、「皆さん寝  
られませんか」の一言  
があり、何が始まるのかと  
思っていたら、一問一答形  
式の学習講義でした。背筋  
が伸び、いつ自分に当たる  
かと緊張感をもって参加者  
も集中していました。内容  
は労基法に関する基本的な  
ものから難しい内容まで多  
様な問題があり、非常に分  
かりやすく、時間が足りな  
いくらいでした。労基法は  
知っていて損はしないので  
また講義があれば聞いてみ  
たいです。  
ホテルクライトンに戻り  
1日目同様、交流親睦会が  
行われ、中盤ぐらいに畠山  
副委員長から「ささやかで  
はあるが、プレゼントがあ  
る」と関西のメンバーが舞  
台に集められ、プレゼント  
がもらえると張り切  
ってジャンケンが始  
まりました。そして  
見事に優勝した方には  
港湾労働の記事原  
稿800字の宿題が  
プレゼントされ、会  
場は大爆笑でした。  
そんな楽しい時間は  
すぐに過ぎていきま  
した。  
3日目は分散会で  
のまとめを各班ごと  
に発表し、最後は団  
結ガンバローで締  
め、無事に第24回全  
国青年対策交流集会



全港湾青年部、未来へ団結ガンバロー

が終了しました。  
私自身、全国青対は初参  
加で阪神支部青年部部长で  
はあるものの、各支部の先  
輩方に色いろ教わり勉強に  
なりました。大きなトラブ  
ルもなく無事に関西での開  
催を終える事ができまし  
た。関係者の皆さんお疲れ  
様でした。  
来年からも全国青年対策  
交流集会はありますので、  
青年部の方達には参加人数  
が可能な限り参加してもら  
い、様々な活動を通して全  
国の青年層と交流してもら  
いたいと思います。今後  
も青年部として様々な運動  
に取り組んでいきますの  
で、各分会ご理解とご協力  
の方宜しく願います。  
菱倉運輸分会  
青年部部长 西 武嗣

非核「神戸方式」

決議49周年記念のつどい

これから非核神戸方式を尊重していく市長メッセージより

3月18日、非核「神戸方式」決議49周年記念のつどいが兵庫県民会館大ホールにて開催され、会場には196名が集まり、オンライン視聴を含め約250名が参加しました。

実行委員会を代表して挨拶に立った港湾共闘谷口議長は、岸田政権が平和憲法を無視し、軍備増強を強め日本が「戦争ができる国づくり」へ着々と進めていることに警鐘を鳴らしました。また非核「神戸方式」への神戸市議員やNHK党の参議院による圧力に対し、神戸市は日本が戦争被爆国として1971年に核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」という国会で決議した「非核三原則」を厳格に実行しているだけで、何ら批判される理由はないことを説き、非核「神

戸方式」の今日的意義を訴えました。

次に久元神戸市長からのメッセージが読み上げられ、非核「神戸方式」を尊重していくという決意に会場から拍手が起こりました。

続いて神戸市原爆被害者の会の立川会長は、「ロシアの大統領選でプーチンが再選されたことにあきれた」として、「今後、本当に核兵器を使うことになったら人類が全滅してしまうのではないかと危惧している」として、「これを阻止してゆくことを真剣に考えなければならぬ。日本を核兵器禁止条約の締約国会議にオブ参加するようあきらめずに声を上げ続けよう」と呼びかけました。

海外からもオレグ・ボドロフ（フィンランド湾南岸平和評議会・映画監督）、ジョセフ・ガースン（平和軍縮共通安全保障キャンペーン）、コラソン・ファブロス（非核フィリピン連合事務局長）、エレン・ト



港湾共闘 谷口議長

・ガースン（平和軍縮共通安全保障キャンペーン）、コラソン・ファブロス（非核フィリピン連合事務局長）、エレン・ト

マス他2名（WILPF）、ロラン・ニベ（フランス平和運動全国書記）、韓国の平和団体SPARK（平和と統一を拓く人々）など、連帯のビデオメッセージが紹介されました。

基調報告した梶本兵庫県原水



太田 昌克さん

協事務局長は、①非核「神戸方式」の値打ち②世界の絶の流れ③日本原水協が提唱する「非核日本のキャンペーン」の重要性と憲法9条とともに、「世界の指針」となった非核「神戸方式」に誇りを持って世界の平和勢力との共同を強めようと呼びかけました。

9年前の非核「神戸方式」決議40周年記念の集いから2回目となる講師の太田昌克さん（共同通信社編集委員）は、核兵器を巡る世界の状況について、「9年前より状況は厳しくなっている」と「国際秩序崩壊の岐路 核と世界、そして日本」と題した講演を行いました。

太田さんは、ロシアの妨害でNPT（核不拡散条約）会議が2回決裂しており、さらにウクライナの戦争を契機に核の秩序崩壊の恐れがあるとして、具体的に中国が建設する高速増殖炉とサイロ（核実験場の設備）が進んでいることを衛生画像で指摘しました。

また米中対立の先鋭化で核軍拡競争の予兆として、「瓶の中の二匹のサソリ」が「三匹のサソリ」へと、双方絶命するまで攻撃するサソリになぞらえ、中国の核軍拡が加速していると批判しました。このように国際秩序が乱れ、核と人類の岐路として、核兵器を減らすのではなく、核兵器を増やすことに大きく状況が変わっていると警鐘を鳴らしました。加えて日本における未曾有の危機として「核を持ち込ませず」をなくすという「非核三原則」の議論があることも説明されました。

最後に「人類はこの試練にどう立ち向かうべきか」、自身の記者としてイ

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】  
ひろさんは毎日ピアノの練習を頑張っていますが、どれだけ練習しても一向にうまく曲を弾けるようになりません。  
なぜでしょう？

675号の回答  
「3」

3名の方から応募があり、全員が正解でした。  
以下3名の方にQUOカードを進呈します。

西野太基・松尾徹・住昌三（ジャパソEXP）

676号の締め切り日は、5月2日（木）です。  
ふるってご応募ください。

ンタビューを行ってきた経験に基づき、※「核のタブー」の堅持・強化を諦めず、最後は私たち市民の声とアイデアであり、それが政治指導者の判断に委ねられるとして、「長崎を最後の被爆地に！」と訴え、講演を締めくくりました。

講演後、神戸港から沖縄県をはじめ全国・全世界のたたかいに連帯を表明し、憲法9条と非核「神戸方式」を守り、広げ核兵器のない平和で公正な日本、アジア、世界を実現することを目指した。

※「核のタブー」とは、77年前、米国が広島、長崎に原爆を投下して以来、「タブー視されてきた核使用の可能性」

非核「神戸方式」決議49周年記念のつどい  
1975.3.18⇒2024.3.18



テーマ曲「波よひろがれ」を大合唱